

2010年7月8日

業務委託先契約社員の逮捕について
～クレジットカード情報の不正入手および使用の件～

昨日、弊社の業務委託をしている先の契約社員が、弊社からクレジットカード番号などの個人情報情報を外部に持ち出し、商品を不正に購入した容疑により逮捕されました。

警察に確認したところ、不正被害は商品約100点、約860万円相当となっております。

被害に遭われたお客さま、関係の皆さまに多大なご迷惑とご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。これまで、捜査協力の観点から公表を差し控えてまいりましたが、容疑者の逮捕を受け、当該事案の概要につきご報告させていただきます。

弊社は、今後も当局の捜査に全面的にご協力し、事実関係の解明を急ぎ、情報管理体制の一層の強化など、徹底した再発防止に万全を期す所存でございます。また、本件に係るカードの不正使用に関しては、お客さまに経済的なご負担を一切おかけしないよう対処してまいります。

本件の概要は下記の通りです。

記

1. 本件の内容

- 当該契約社員が従事していたのは、弊社セキュリティセンターでの夜間における不正検知業務（21:00～翌9:00）であり、その業務に使用していた業務端末から個人情報情報を不正に取得し、その情報を用いて商品を不正に購入したものとみられます。
- 弊社調査では、不正取得された情報は、氏名、クレジットカード番号、有効期限など、クレジットカードによる商品購入に必要な情報と思われまます。
- 使用されたと思われる業務端末を確認しましたが不正なダウンロードが行われた形跡は見つかっておりません。また、同端末には外部記憶媒体への保存機能は備わっておりません。

- 本件発覚の経緯といたしましては、本年5月上旬、セキュリティセンターの業務においてクレジットカードの不正使用が疑われる取引を発見し、調査したところ、弊社内に設置の業務端末からカード番号等が流出した可能性を認識しました。5月8日より当該端末の使用制限を実施、5月14日に警察にご相談しております。

2. お客さまへのご対応

本件を起因として不正被害に遭われたお客さまには、カード番号の切り替え等を実施し、経済的なご負担を一切おかけしないよう誠意を持って対応させていただきます。

3. 発生原因

今後の警察当局による犯行手段などの事実解明も踏まえながら、内部調査に注力し、本件の発生原因を特定してまいります。

4. 再発防止策

当社では、業務委託先管理の問題点を早急に洗い出すと共に、全社的な個人情報管理体制をより厳格なものとしてまいります。また、今後の捜査や内部調査により解明される事実関係に対応した再発防止策を遂行してまいります。

弊社施設内でこのような不正が発生したことは誠に遺憾であり、弊社は本件を厳粛に受け止め、再発防止策を完遂していくことで、信頼回復に努めてまいります。本件により皆さま方に多大なご迷惑をおかけしますことを、重ねてお詫び申し上げます。

以 上